

第 129 回 番組審議会 議事録

開催日時：2026 年 3 月 5 日（木）

- 1) 出席委員（総数 5 名：出席数 5 名）
- 2) 大畑卓也／西本知加／荒木奏音／伊藤健飛／近藤慎一
※ 大畑卓也委員はレポート提出

3) 審議番組の内容

番組タイトル：THE ラブィート演芸 楽市・落語

パーソナリティ：登龍亭幸福、微笑亭さん太、甲田陽子

放送日時：2025 年 10 月 12 日（日） 17 時～17 時 30 分（登龍亭幸福）

2025 年 12 月 28 日（日） 17 時～17 時 30 分（微笑亭さん太）

番組概要

通の人も、そうでない人も、気楽に楽しんでいただける落語番組。

地元で活躍する落語家が皆様に笑いをお届けします！

ラジオがあなたの高座になります♪

3) 審議の内容

【大畑委員】※ 事前レポート提出内容

初めて対象の番組を聞かせていただき、楽しさのあまり時間を忘れてしまいました。落語の魅力を楽しみやすく伝える温かみのある地域密着型番組と感じました。パーソナリティの軽妙なトークは自然体で、時事ネタも堅苦しくならず、笑いを交えながら分かりやすく展開されていました。実体験を交えたやり取りには親近感があり、リスナーも会話の輪の中にいるような心地よさがありました。後半の落語では、語りのテンポや間の取り方に安定感があり、物語の世界に引き込まれました。伝統芸能でありながら決して難しくなく、初めて聴く人にも楽しめる構成になっていると感じました。全体として、地域文化への愛情と話芸への誠実さが感じられる、安心して楽しめる良質な番組だと感じました。

【西本委員】

落語を聞いたことがなくて、今回初めてラジオを通して落語を聞いたっていう形になるんですけど、話だけで、絵が想像できたり、アドリブで話を盛り込んだり、ラジオと落語の相性がとても良いと感じました。声だけで場面が想像できるっていうところが落語を初めて聞いたんですけど、面白かったです。気になったところとしては、ちょっと私が落語について詳しくないっていうのもあると思うんですけど、時事についてのコーナーのところはちょっと落語的な部分はあんまりわからなかったかなと思います。

【荒木委員】

最初の印象で、番組のパーソナリティ2人の仲がいいなっていうのを感じました。時事のコーナーもテレビだとやっぱりその専門家の人がちょっと堅苦しく話すイメージですが、ちょっと面白可笑しく取り上げていて、身近に感じられました。落語を直接見に行くのはちょっとハードルが高く感じていましたが、ラジオで発信してくださることで、ハードルが低くなり、その世界に入りやすくなると感じました。

【伊藤委員】

流行りの曲も流さず、視聴者の参加型のメッセージコーナー無く、静かに聴くラジオというのは、今思うと非常に良いと思い聴いていました。有名な落語家さんがラジオでお話しされている番組というのは、多いんですけども、その中でこのラビートさん独自のご当地の落語家さんのラジオが聴けるというのはいい番組だと思いました。このお二人のなんというか技量というか、センスをもっと織り混ぜて、ちょっと風刺が効いたようなところも聞いてみたいなと思いました。今回はそれぞれの方1回ずつしか聞いていないですけども、もっと何回もと聞いたら、いつの間にかきっと自分も大喜利の答えなんかを考えるようになって、2人にちょっといじってほしいなと思うようなファンになりそうな番組だなと感じました。

【近藤委員】

落語の独特の世界観で現実を忘れて聴けました。現実を奪って忘れさせてくれたというところがすごく良く、情景描写とか世界観を描いてくるので、何かやりながら聴いていたんですが手が止まりました。毎回いろんな番組がありますが、今回の番組は音楽ないなと思いました、その代わりに落語があったから完全に心を持っていかれました。